



- ☆夏季研修会報告
- ☆授業のひとコマ
- ☆岡崎市教育研究大会報告

夏季研修会報告

☆授業力・教師力アップセミナー

《基礎編》【日時・会場】7月30日、竜美丘会館501号室

(講師・講義)岡崎市立葵中学校 算数・数学科指導員 佐橋 康仁先生「学び合いのある算数の授業」

(講師・講義)東京学芸大学附属竹早中学校 教諭 小岩 大先生「小中連携を視点とした算数・数学指導」

《応用編》☆小学校算数科教育 【日時・会場】8月5日、市総合学習センター3F 教材開発室

(講師) 蜂須賀 渉先生

☆中学校数学科教育 【日時・会場】8月6日、市総合学習センター1F 第2会議室

(講師) 加藤 嘉一先生

授業力 教師力アップセミナー《基礎編》に参加して

前半では、佐橋康仁先生から「学び合いのある算数授業」についての教えていただいた。今、子供たちに必要な力は、思考力・判断力・表現力であり、それらの力は教師が一方的に教える授業では育ちにくいものであることが分かりました。自分の考えを伝えたり、相手の考えを理解したりするなど、目的意識をもって取り組める活動である「学び合い」を大切にしていきたいと思いました。

後半は、小岩大先生から「小中連携を視点とした算数・数学の学習指導」について教えていただきました。下学年でどう学習をしていて、上学年にどうつながるのかという、既習と未習の理解をしていくことで小から中への移行がスムーズになると感じました。教えていただいた「系統性」の視点を意識した上で、教科書を一度経験して考えた過程を、教師の視点と子供の視点で振り返るといった教材研究を実践していきたいです。

(文責 連尺小 野田 梨紗)



☆全国算数・数学教育研究(鳥取)大会

日時 7月31日(木)、8月1日(金) 9:30~

会場 米子松蔭高等学校、米子コンベンションセンター、米子市文化ホール

※参加者 神谷尚希(六名小)、岩瀬竜弥、野田梨紗(連尺小)、吉田靖子(山中小)、内田麻菜(岩津小)、林 秀(上地小)、高松順子(六西小)

全国算数・数学教育研究大会に参加して

今年の夏、第96回全国算数・数学教育研究（鳥取）大会に参加し、研修する機会を得ることができました。研究主題は、「考える楽しさをつくる算数・数学教育」。初日は、ビデオ授業研究会でした。このビデオ授業研究会は、全国で初の試みとなる3点カメラの撮影によるものでした。授業者、子供たち、全体の様子を同時に参観することができ、通常よりもより詳しく把握することができました。そして、“できた”ことによる“楽しさ”だけでなく、“多様性”による“楽しさ”について学ぶことができました。自分も、子供たちが“考える”ことを“楽しい”と思えるような授業展開を行っていきたいと思いました。また、自力解決の際に比較することで思考がはつきりすること、探求によって意欲化の継続が可能であることも学びました。2日目の分科会では、ノート指導と板書計画の連動の在り方、数直線の活用、類似探究など学習指導法について学びました。今後も研修を行い、授業に取り入れていきたいと思いました。

（文責 上地小 林 秀）

☆愛知県算数・数学教育研究大会（兼：三河教育研究会）（西尾大会）

日時 8月6日（水）

会場 西尾市文化会館

○提案者として中学校の部【1年】で高橋幸太先生（北中）【2・3年】で松金正樹先生（甲山中）が出席されました。

○司会者に岩瀬竜弥先生、紀平高之先生も参加してみえます。

三河教育研究会に参加して

《中学校1年生部会》

愛知県数学教育研究会小中学校研究大会にて、岡崎北中学校の高橋先生より「共に学び合い互いの成長を喜び合える生徒の育成をめざして」をテーマに、共同学習を取り入れた授業の実践の提案をして頂きました。

提案の中では、中学校1年生「比例・反比例」の単元の反比例のグラフや変域、動点の問題について、4人1組のグループでの話し合い活動を中心に、答えをA～ウの選択肢にしたり、4枚のヒントカードを用意したりするなど、話し合い活動が活発になるような工夫について発表がありました。生徒が意欲的に学んでいく様子がよく分かり、共同学習の有効性を知ることができました。

研究大会に参加して、グループ活動を生かして授業を展開することが他の生徒の考えを知り、互いに高め合うことにつながることを学びました。



（文責 東海中 三原拓郎）

《中学校2・3年生部会》

8月6日（水）に西尾市文化会館で行われた愛知県数学教育研究会小中学校部研究大会に参加しました。岡崎からは甲山中学校の松金正樹先生が「筋道を立てて考え、表現する能力を育てる学習」をテーマに発表をされました。質疑応答の時間には、松金先生が授業の中に取り入れたペア活動、グループ活動についての話し合いが行われ、どのようにペアやグループを作るのか、話し合いを行う際の決まりなどについて議論をしました。グループ全員を活躍させることの難しさを感じながらも、一人一人を細かく見ながら、思考力や表現力を育てていく必要があることを学びました。



（文責 額田中 森 一生）

授業のひとコマ「文章問題の復習をしよう(小学校6年生)」実践

「外国籍の児童への実践」

昨年度は、ブラジルなどの外国籍児童に算数の授業を担当していた。日本語での日常会話の上手な児童でも、授業での理解については話が違う。日本人の児童でも、文章問題になるとつまずく児童は多い。その問題が何を求めているのかが分かりにくい問題も多い。ましてや外国籍の児童にとって、日本語の文章を正確に読み解いていくのは難しいことである。日本人が英語の文章を読む時に難しい単語を飛ばして読んでいくように、外国籍の児童が日本語の文章を読む時にも難しい日本語を読み飛ばしていく可能性も高い。



本時では、小数や分数の文章題を取り上げた。日本語による「文章問題」を、外国籍の児童にも理解しやすくするために、2つの手だてを用意した。一つは、漢字にふり仮名を付けること。外国籍の児童に読めると思っても、実際には読めない漢字が多くある。漢字にふり仮名を打つことで、問題文の理解が進んだ。二つ目は、文章の大切な部分を太文字にすることである。日本語の文章は、主語と述語が離れていたり、主語が省略されていたりすることがある。問題文の大切な部分を太文字にすることで、その問題が何を求めているかが分かりやすくなったと考える。さらに、語学指導員のサポートもあり、文章問題へ取り組みやすくなったと思う。

(文責・恵田小学校 藤田宏、 前任校・城南小学校)

岡崎市教育研究大会

教育研究大会が9月2日(火)に行われました。会場は市民会館で今年も多くの提案がされました。助言者として三浦鎌次先生(元三教研算数・数学部会長)、柴田録治先生(愛知教育大学名誉教授)をお迎えして、充実した会となりました。

※県教研 推薦者 徳倉千秋(葵中) 小山岳彦(六ツ美中)
都築周平(連尺小) 岩野慎也(井田小)

岡崎市の代表としてご活躍を期待しています！！

☆提案者・内容については下記をどうぞ↓

※岡崎市教育研究大会 算数分科会 提案者(日程表)

※岡崎市教育研究大会 数学分科会 提案者(日程表)